

同志社大学通信

ONE PURPOSE

FOR BETTER COMMUNICATION

特集 / アメリカ同時多発テロと学生意識

同志社人訪問 / がんこフードサービス株式会社小嶋社長に聞く

No.129

2001 DECEMBER

DOSHISHA UNIVERSITY



2001

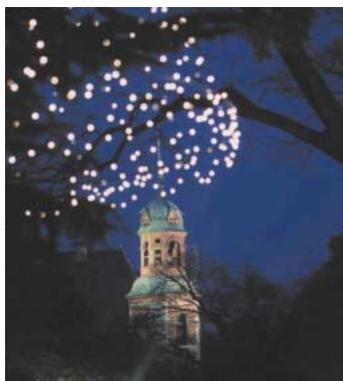
NO.
129

DECEMBER

C O N T E N T S

COVER STORY

[表紙の情景]



今年もクリスマスツリーが今出川キャンパスを飾る時期がやってきた。このクリスマスツリーは、同志社創立125周年を機に昨年登場したもので、西門近くの大きなヒマラヤ杉に鮮やかなイルミネーションが灯る。西方から見ると右手に明德館、後方にクラーク記念館がライトアップで浮かび上がり、京都の新名所にもなっている。点灯式は12月4日(火)17時30分から行われ、クリスマス(25日)まで22日間、キャンパスを彩ることになっている。

点灯時間：毎日日没から22時30分まで

特集

—座談会—



アメリカ同時多発テロ
と学生意識

2

レクチャー

7

学生記者レポート

8

来年度就職を目指すみなさんへ

9

ゼミ・ゼミ おじゃまします 工学部 雨谷・長岡・馬場ゼミ
3C(Curious,Critical,Creative)を
背景にオリジナルを目指す

13



同志社人訪問

がんこフードサービス株式会社
小嶋社長に聞く

15

キャンパスニュース

18

ONE PURPOSE コメンタリー

21

本学教員の推薦する BOOK&VIDEO

23

私と「仕事」

25



photo AP/WWP

特集
—座談会—
アメリカ同時多発テロ
と学生意識

二〇〇一年九月十一日に起った同時多発テロ事件は、世界中を震撼させた。その衝撃は、湾岸戦争とも、コソボの紛争ともまた違った傷跡を私たちに残した。テロで犠牲になった人々は六千人とも言われ、その後始まった米英軍によるアフガニスタンへの軍事力行使は、さらに新たな犠牲者と難民を生み出すとしていた。この事件を、私たちはどう考え、今後どのように行動すべきなのか話し合ってみた。

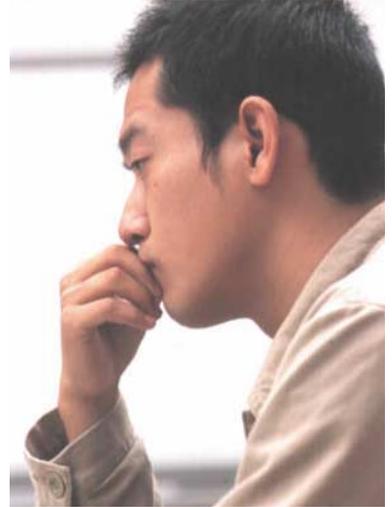
九月十一日、テロの
一報に接する

村田 問題の九月十一日、皆さんはどこで何をしていたのか。そして事件の一報に触れ、何を感じたのか、まず伺ってみましょう。

深 その頃、私は研究の資料収集のためにサンフランシスコに滞在していました。テロが起ったのは米国西部時間で朝の六時頃だと思います。その朝、私は新聞もテレビも見ないまま地下鉄に乗ってカリフォルニア大学バークレー校に行きました。途中、街が静かだなぁと感じましたが、ほかに変わった様子もなく、大学で資料を検索するためにパソコンに向かうと、インターネットにテロ発生ニュースが



村田晃嗣
法学部助教授



だが、その一方で、井戸堀りには関係がない」という冷めたところがありました。ところが翌日、NGOオフィスから電話が入り、その日のうちにジャラバードに引き上げ、十四日にはパキスタンに移りました。二十四日に無事帰国しましたが、帰りの機内は、JICA関係者など帰国を急ぐ人々でいっぱいでした。

村田 NGOに参加されたきっかけは？

トルを発見。最初は、以前起こったコーヨーク世界貿易センタービル爆破事件を思い出しましたが、ニュースを読み進むうちに、事の重大さを知り、あわてて帰路につきました。夕方、サンフランシスコ市内のいくつかの場所では、若者たちが集まってテロ反対の決起集会を開いていました。

木村 事件はアフガスタンで知りました。私は今夏、四カ月の予定でNGO活動に参加し、ジャラバードの近くの村で井戸堀りに従事していたのです。事件そのものを知ったのは仕事を終えて宿舎に帰ってからで、ラジオから流れてくるニュースに周りは騒然となりましたが、テロの首謀者としてオサマ・ビンラディン氏の名前が上がったのは後のことだと記憶しています。そして、ニュースに接したときは事の大きさに衝撃を受けまし

きさに衝撃を受けまし



木村隆幸さん

商学部4年次生



大学では監査論について学ぶ。ワンダーフォーゲル部で主将を務めた後、6月からNGO「ベシャワール会」に参加。アフガニスタンで活動中、今回の事件に遭遇した。

木村 アフガスタンでNGO活動をされている人と知り合いになり、「ベシャワール会」という団体に参加しました。内戦が続くアフガニスタンで、水不足に悩む現地の人々とともに井戸を掘るのが主な活動です。参加した理由は、活動が自分自身のためになるだろうと考えたからです。アフガスタンで二カ月、パキスタンで二カ月活動しましたが、「自分のため」だとかいう考えは持つ間もなく、とにかく必死でやりました。

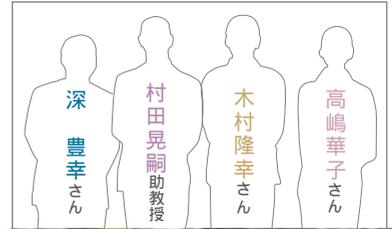
高嶋 あの日、私はインターンシップに参加した友人たちと会食し、その中の一人の実家に泊めていただくことになりました。ニュースはその友人宅のテレビで知りました。世界貿易センタービルに飛行機が突入するシーンに、キヤスターが「今は、VTRですか」と上ずった声を張り上げていたのが印象的でした。ご家族の一人が近く涙を控えていたこともあって、いじょうにテレビを見ていたご家族の間でさまざまな憶測が飛び交い、不安のうちにそれぞれが眠りにつきました。

高嶋華子さん

神学部3年次生



「メディアと神学」について学ぶが、外交史にも関心を持つ。夏休みには、読売新聞大阪本社で2週間のインターンシッププログラムに参加した。



テロの背景に何を 見るか

村田 実は私も、当時米国にいました。今年
はサンフランシスコ講和条約締結五十周年に
あたり、サンフランシスコでの記念行事を終
えてアリソナ州フェニックスに滞在していた
ところでした。深さんも事件を米国で知り、
アメリカ人の反応を肌で感じてこられたと
思うのですが、テロの背景についてはどう考
えていますか。

深 数千人もの命を一瞬间にして奪うテロ
については、いかなる理由があっても許され
ない。これはアメリカ人のみならず、国際的
なコンセンサスだと思います。歴史的には米
国の過去の中東政策や、最近では京都議定
書やCTBT(包括的核実験禁止条約)から
の離脱など、ユニラテリズム(単独国家主
義)が目立ち始めたブッシュ政権の政治スタ
ンスに遠因を求める声もあります。しかし、
ひとつの見方として、急速に進むグローバル
化の潮流の中で、それにとり残され



深 豊幸さん
アメリカ研究科
博士課程(後期課程)
1年次生

日系アメリカ人史を研究する。テロ勃発時は、カリフォル
ニアにおける日系アメリカ人排斥運動について調べるた
めサンフランシスコに滞在中だった。

た人々のフロンティア精神が背景にあるの
ではないかと私は考えています。湾岸戦争
以来、そうしたフロンティア精神を溜めて
来たのがイスラム諸国であり、中でもアフガ
ニスタンはソ連の侵攻後も内紛を繰り返し、
国は疲弊し、米国からの支援もいつしか途絶
えて、世界から取り残されていった。パーミ
ヤンの石仏を破壊したときに寄せられた世
界中からの非難に彼ら自身がそれを感じた
と思います。



木村 アフガニスタンがいわゆる国際社会に
取り残されていたという側面はあると思
います。だからテロリズムに走ったとは考え
にくい。現地で井戸を掘り、アフガニスタン
の人々と接してきた経験から言えることは、
ビンラディン氏の憤りがあの事件を引き起
こしたとしても、アフガニスタン国民の意思
とは関係がない。むしろ彼らは長年続いた
内戦にくたびれていて、厭戦の気持ちが強
いと感じています。

高嶋 ビンラディン氏は声明を通してイスラ
ム社会対米英の聖戦(ジハード)を呼びかけ
ていますが、宗教的理由であれだけ多くの
人の命を奪えるものなのでしょうか。ただ、
いかなる理由があってもあのようなテロ行為
は正当化されるものではありません。まず
行われたことの是非をはっきりさせてから、
理由なり背景なりを考えないといけないの
ではないでしょうか。

軍事力行使を 考える

村田 テロからほぼ一カ月たった十月七日、米英は軍事力の行使に出ました。これについてはどうでしょうか。

深 時期については、拙速だったと思いますが、ビンラディン氏を首謀者としています。国際社会が納得する証拠を提示してからでも遅くはないのではないのでしょうか。

村田 日本の報道では「報復攻撃」という表現がしばしば使われますね。

深 報復というのであれば、私は軍事行動には反対です。しかし、米国の報道ではretaliation(報復)という言葉はあまり使われていないようです。米英が軍事行動に出たからというものの、私のパンクンに反戦を呼びかけるメールがよく届くようになりました。反戦に賛同する者はサインして返信するのですが、私の気持ちは複雑です。今回のテロとその後の情勢から、反戦運動に意味があるのか

と考えるととても賛同する気持ちにはならないのです。

木村 テロリズムがそもそも報復行為だと思うのですが、これに報復で応えたのでは永遠に報復合戦が繰り返されるだけで、そこからは何も生まれません。

高嶋 私は、報復としての軍事力の行使については賛成です。今回の軍事行動の目的はテロ組織の殲滅であり、アフガニスタン内のアルカイダを壊滅することにあるはずだからです。ところが、米英の矛先はアルカイダを支援するタリバン政権に向かっています。テロ組織はアルカイダだけではなく世界の至るところに存在するわけですから、軍事行動はそこまで拡大していくかとの疑問はあります。

木村 軍事力行使の是非については、私はあまり論じたくありません。所属するペシワール会の立場は、爆撃が始まったことは事実であり、これを現実として受け入れ、われわれは今何ができるかを考えることです。

高嶋 ジャララバードの近くということですが、木村さんたちが井戸を掘っている村も空爆を受けたのでしょうか。

木村 まだ情報は届いていません。私が聞いているのは、井戸掘りは今も続いているということだけです。現地では、その日の水を確保することがまず先決であって、たとえ空爆があるうかがなければ生活が成り立たないのです。

村田 軍事行動については意見の分かれるところですが、もし何の行動も起こさなかったら、国際社会はテロという政治手段を容認したことになるのではないのでしょうか。

深 テロに対して何らかの対抗手段を示すべきだと私も思います。ですから反戦活動には今回は賛成できなかった。日本は旅客機のハイジャックが起つてもつねに人命の生命を第一に考えてきました。テロを誘発しかねないと国際世論の批判もありましたが、実は私もそうした日本流のやり方がいいと思ってきました。しかし、今回の事件に関して今までと違う危機意識を持ったし、米英のこうした軍事行動にはテロ抑止効果があることは認めないといけないと考えています。

木村 こうした国際的な事件が起こるたび





に感じるのですが、日本の報道はつねに内向きですね。日本人の犠牲者がいたかどうか重要であり、その安否を気づかつが、犠牲者がいなければ客観的な報道に終始します。高嶋 この問題で友人たちと議論していて、そのことが話題になりました。日本人は加害者意識はあまりないのに、被害を受けたことにはとても過敏だということです。

深 今回のテロに関しては、国際社会を標的にしたものであり、日本企業とそこで働く日本人も標的になったことを忘れてはいけないと思います。ところが、新聞報道

を読んでもそのあたりの当事者意識がないようにですね。

村田 私はそれは感受性の問題だと思えます。多くの人にとってアフガニスタンは遠い国であり、活字や地図を通して知っているだけですが。しかし、木村さんが言ったように、そこでは日本と同じように日常が営まれている。また今回テロが起こったのは米国ですが、東京が標的なら可能性が否定できないし、もっと言えば将来京都が軍事アタックを受けない保証はないのです。このように空間や文化を超えて当事者の立場に立ちてみる。あるいは現在という時間軸を超えて、将来起こり得る可能性を感じ取ってみる。感受性を働かせて考えること、もっと問題を身近に引き寄せて考えることができるのだと思います。木村 アフガニスタンにいるときは、緊迫した空気の中で暮らしていて、日本の報道姿勢に何か絵空事について論じているような冷ややかさを感じました。ところが帰国してこの国に暮らしていると今世界で起っていることが、どこか遠い国、あるいは遠い過去のお話のような気がしてきます。私も、感受性が



麻痺してきたということなんじゃないか。

高嶋 木村さんは、またアフガニスタンに行かれるのですか。

木村 今は何も言えませんが、もどりたいと考えています。

村田 今回の同時多発テロに限らず、われわれは、経済情勢においても、国際政治におい



ても、ますます困難な時代を迎えようとしています。しかし、今日、みなさんがそれぞれの立場で問題意識を持ち、行動されていることを知り、うれしく思いました。

(二〇〇一年十一月二日収録)

LECTURE

「戦火の中を生きる」

10月29日第24回外国文化週間の一環として、写真家長倉洋海氏を講師に迎え、一般公開講座が開かれた。テーマの「戦火の中を生きる」は、米国同時多発テロから世界中の注目を集めているアフガニスタンで長年撮り続けてきた長倉洋海氏の講演とあって、多くの学生が聴講。さまざまな紛争地で撮られた写真をスライドで紹介しながら、混沌とした世界情勢について語った。



マスード氏とアフガン北部のフォルカールにて

人間が引き起す「戦争」を考えると、
き何を軸に考えていくべきなのか。現在、
私たちは発達したメディアから、最新の
情報を受け取り、すべてを知っているか
のような錯覚を抱く時がある。しかし、
マスコミ報道が本当に真実を伝ええる
かという点では、多くの疑問が残る。長
年世界のさまざまな紛争地に赴き、そ
こで生きる人々を撮ることで、戦争を
伝えてきた長倉さんは、今回、アフガニ
スタンの一連の報道を通して、あらため
て情報を伝えることは難しいと感じた
と語る。

一九八〇年、アフガニスタンにソ連軍
が侵攻し、世界中の注目を集めた。通
信社の報道カメラマンとして訪れた長倉
さんは、戦闘を間近に見、破壊された
戦闘機や戦車、兵士の死体を撮ること
で、戦争を伝えたいつもりだった。大国
ソ連と戦っても勝てるわけがない。すぐ
に「この戦いも終わるだろう」と。これが世
界の一般的な見方だった。私もそう考
えていた。ところが、彼らは多くの犠牲
と血を流しながらも戦い続けた。なぜ、
彼らは戦うのか。自分は何を伝えたいの
だろうかと自問する日々が続いた。そ
んな時、ソ連軍を破り続ける若き司令
官マスードの存在を知る。自分と同年代
の若者を通して、この戦争を伝えたいと
思い、彼に会うために険しい道を乗り越
えた。彼の超人的な力、未来の理想
だけを説くのではなく、いまを生きる人
間を大切にする姿は新鮮だった。未来
を見据え、独立のために民族や宗派の

異なる国の人々と友好的にやっていると
する姿に刺激されてきたという。

「人々は戦いたいと思っているわけ
ではない。彼らが一番、平和を願っていま
す」と、さまざまな紛争地で撮った写真
のスライドを交えながら語る。笑顔の
かわいい少女、寄り添うように眠る夫婦

もの。この老人、そこには、明るさとた
くまさが写し出されていた。日常とい
うフィルターを通してそこに生きる人々
から、戦時下にも同じような生活があ
ることを伝えられたという。世界の一
番弱い部分に矛盾が集まり、戦いが始
まる。そして、真当に生きる弱い立場
の人々がすべてを引き受けているので

す。困難な暮らしの中、困っている人
を助けようとする人々、対立している民
族同士が暮らす姿。そこにはニュースや
新聞で使われる内戦、民族紛争という
言葉で簡単に片付けられない現実があ
った。「事実をただ伝えるのではなく、そ
の背景を含めた目に見えない部分も一
緒に伝えることこそがジャーナリストと
して大切だと思っています」と新たな事
件やスクープを追うマスコミの弱点を
鋭く指摘する。

ソ連軍撤退後もアフガニスタンでは内
戦の戦火はやまず、大国と周辺国の思
想や政治介入がタリバンとテロの芽を育
てた。その事実を、世界は黙殺してきた
戦つことでの解決ではなく、話し合いと
選挙を望んだマスコミは、米国同時多発
テロの一日前に暗殺された。戦争が終
わった、良かったで終わらばずに、その

後の人々のことも忘れないうでほしいと静
かに語る。一人の人間に長年、心をよせ
て見続けてきた長倉さんの言葉が胸に
響く。人がどうして戦わなければならないの
かを知り、理解していかなければ、
世界から戦争はなくなるならないとも語
ってくれた。

新たな世紀の幕開けは戦いから始ま
った。複雑な世界情勢には、言いよつ
ない不安を感じてしまう人も多いだろ
う。世界が抱えるすべての問題を一気
に解決することはできない。しかし、自分
たちの置かれている現実を直視し、変えて
いく気持ちを持つことで、少なくとも間
違った未来を描かずにすむのではないだ
ろうか。長倉さんが言うように、人との
出会いを通して、自分の軸を持つことが
情報に惑わされず、しっかりと未来を見
据えて生きていくために必要なことな
らう。



ながくら ひろみ
長倉 洋海さん
【1977年 法学部卒業】
1952年北海道釧路市生まれ。
時事通信社写真部を経て、1980年
からフランスの写真家に。
世界の紛争地 エルサルバドル、南
アフリカ、コンゴなどを訪れ、そこに
生きる人々を追いつけてきた。写真
集に「マスード愛しの大地アフガン」
(河出書房)「マスードの戦い」(河出
書房)
「フォト・ジャーナリストの眼」(岩波新
書)

同大生としての最後の一年

—就職活動を軸にして—



岡山勝太さん
経済学部 4年次生

への就職以外にも、国家公務員や研究職(学者)といった仕事についても興味があったので、その中から自分の進路をまず決めようと思っていましたが、もう少しじっくりと結論を出そうと考えていた私にとって、近年急速に早期化された就職活動はその猶予を与えてくれませんでした。

雨の中、同志社大学の門をくぐり入学式に向かったのがつい最近の事であつたかのように感じられます。しかし、あれから三年以上の歳月が経過して、その間に色々な経験を積む事ができました。平凡ではありますが、少しでも参考になればと思い、就職活動を軸にした最後の一年の過ごし方について報告したいと思います。

三年次の十月からは大学のガイダンスが始まり、たかと思えば、資料請求やエントリーが開始され、十二月には企業別のガイダンスが始まりました。そして二月くらいからリクルーター面接とじた本格的な就職活動が始まり、三月には一日の休みも無く毎日数社の説明会や選考を受けました。このような就職活動を行うっていく過程で、融資や資産運用といった業務に携わって自らを成長させたいと思い、志望業種を金融業界に定めました。四年次生になる四月から新学期が始まりましたが、就職活動でゼミも含めてほとんど学校に通えませんでした。講義に出席できず単位取得は大丈夫だろうか?という不安感の中で就職活動を行うのは精神的にも肉体的にも辛か



たのですが、第一志望の信金中央金庫から運良く内定を頂く事が出来たので、結果としては非常に満足しています。また、この就職活動を通じて就職部でボランティアを体験し、様々な企業の人事担当者と懇談した事や普段馴染みの薄い企業で面接を受けた事もこれからの私の人生にとつて大いに実りあるものであつたと思います。

就職活動を一段落させた後、もう一度自分自身の力量と可能性を見極める為に、国家公務員 種試験経済職に挑戦する事にしました。三年次生の時から、一応専門学校には入学していたのですが、通う余裕が無く、また公務員一本に絞っていたわけではないので、充分な事前準備をする事ができませんでした。このような不十分な状態のまま試験当日となり、当然と言えば当然ですが、良い結果を出す事はできませんでした。

その後、私は晴れて元の普通の大学生に戻れる事になった訳ですが、就職活動によって出席できなかった分の授業については独学で補い、春学期の期末試験を受けたのですが、何とか一定の成果は残せたと思います。さて、残る学生生活についてですが、学生生活最後の夏休みを無駄に過ごさない為に、家族との思い出作りを目的として家族で韓国旅行に行ったり、自動車教習所に通ったりしました。そして先日、念願の大型自動車第一種免許を取得する事ができました。今度は、卒業までに大型自動車第二種免許の取得を何とか達成したいと考えています。加えて、卒業アルバム編集委員会の一員としてなるべく良い内容の卒業アルバムを完成させられるように尽力しつつ、自分が納得できる卒業論文を最終的に書き上げて、学生生活の集大成としたいと思っています。



来年度就職を 目指すみなさんへ

就職をとりまく状況

二〇〇一年度の就職状況は、超水河期といわれてきた過去三年間に比べ求人倍率で文系一・〇六（昨年〇・九〇）、理系一・七八（昨年一・四二）と、曇り空の間に薄明かりが差し込んだ状況で推移してきました。

しかし、これは、年度当初のIT関連企業の雇用増加によるもの以外は、一九九〇年代から続くバブル経済崩壊後の低成長の時代、規制緩和やグローバル化など厳しい企業間の競争のなか、人員削減や業界再編成など生き残りをかけ、この数年新卒採用の中止もしくは抑制してきた企業が、人員構成のバランスをとるため採用を行なったことなどのためです。このため、員数合わせの採用ではなく、将来の幹部社員になれるような、意欲ある優秀な人材だけを確保する厳選採用を行なっています。

それにもない優秀な人材に対する内定の早期化がますます進むと同時に、反対にビク時に内定を得ることのできなかつた学生にとっては、就職活動が長期化するという二極分化が顕著となっています。また、採用

の形態としても即戦力である中途採用者の採用、通年採用、秋期採用など様々になってきています。

このような早期化、長期化、多様化の流れは二〇〇二年度就職戦線において更に拡大していくことでしょう。

応募先選択段階での反省点



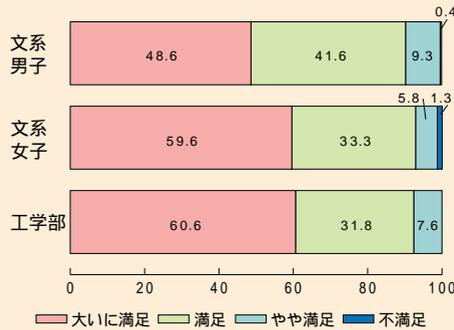
今年度就職活動をした 先輩からのメッセージ

(4年次生就職アンケートからのメッセージ)

経済 女 専門卸売業「SPIをあまく見ていました。SPIは一通り勉強しておいたほうが絶対いいです。とにかく筆記が通らなかつたら面接にすら進めませんから。」 文・文化 女 国家公務員 種「公務員試験の勉強は、途中で投げ出したくなるほどつらくなります。友達と同じ目標を持つことと励まし合いながらがんばってください。」 経済 女 メーカー「OB訪問は早い段階からしたほうがいいと思います。電話だけでなく実際に働いている方の話を聞くことが見えてきます。少しでも興味のある業界・企業であれば、話を聞いて深めるなり、自分のやりたいことを見分けるためにも有効だと思います。とにかくやってみる！行動が大事です。」 経済 男 食料品「たはこ製造業」大学生活四年間の中で、これだけは胸を張ってやり遂げたと言えるものをいくつかあげたいと思います。就職に限らず、そのような人々は魅力的だし、どんな状況でも乗り越えられる力があると思います。 法 法律 男 運輸・通信業「早く活動を始める事と、あまり業種を絞り込み過ぎない事です。年々企業の活動が早くなっているため、気付いたら応募が締め切られてしまうという事が何回かありました。」 神 男 輸送用機器製造業「会社の規模には拘る事はないと思います。必ず、中・小企業でも、やりたい仕事は見つかります。就職活動では様々な出会いがあります。決してその出会いを無駄にしないで下さい。あなたの人生を変える出会いかもしれません。」 機械システム 男 運輸・通信業「近年、特に大企業では学推は全く関係なく実力が重視されます。就職試験で感じたのは礼儀作法知らない学生が多いという事です。平日頃から礼儀作法には注意を払う事が大切です。」 院・機械 男 精密機械器具製造業「工学部の人は学推があるとは言え、自由応募で沢山の会社を回り、面接でしっかりと自分の考えを喋れるようにしておいたほうがいいと思います。」 知識 女 情報・調査・専門サービス業「面接時には、ほとんど自己PRを聞かれるので、就職活動の忙しくならない時期に、しっかりと自己分析しておくのがベスト。特徴・性格を全て書きとめておいたり、まわりの友達から自分がどう見られているかなど、あらゆる面から自分を見つめ直すこと。」 文・文化 女 教育「自分が何者かを知るのは難しいです。

また、今秋以降の混乱した国際状況、世界同時不況の進展、大量のリストラなど様々な企業を取り巻く環境から考えれば来年度の就職状況は、大変厳しいものになることが予測されます。

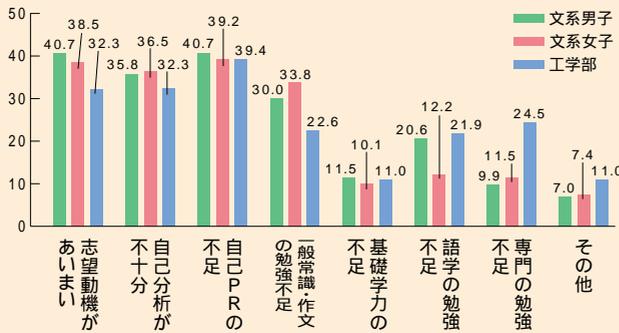
就職決定先の満足度



企業が求める人材

それでは、このような時代に企業は、どのような人材を求めているのでしょうか。たとえば、飛びぬけた特別の能力を持たないのに早々と内定を獲得する学生がいます。そういう学生の特徴は、よく学び、よく遊ぶなかで、人間力を蓄えることができています。この「人間力」とは、ひとを思いやる力、他者とのコミュニケーション力、社会の出来事に対する好奇心、明るさなどで構成される。

面接・試験段階での反省点



その人の人柄、人間的魅力です。企業は、あなたが今までに、どのような生き方をしてきたのか、どのようにものごとに取り組んできたのかを見ようとしています。それは、就職後、あなたがどのように仕事に取り組むかに結びついているからです。今までに何を考えて、どのように生きてきたのか(自己分析)を、これからどのような道を歩もうとするのか(職業観の形成)をよく考えてください。これらの分析が明確にできていて、自分の言葉で語ることで、企業を企業は求めています。この自己分析や職業観の形成がしっかりできていない学生は、厳しい就職状況においても満足する結果を得ることができています。

が 将来自分とはどんな生活をしていこうか人生を送りたいのかを想像してみると、今どきに就職すればいいかが見えてくるかも知れませんが、頑張ってください。文・社会・女・放送・広告・100%満足できる就職先はあまりないと思います。これだけではゆずれないという条件を明確にし、その他はある程度妥協する事が必要だと思います。経済・女・運輸・通信業「就職活動は数をこなすことが大切です。面接に慣れると堂々とできます。集団面接の時は他の学生と同じような事を参考にする事もできます。自分に自信を持って下さい。法・政治・女・銀行・信託業」活動中は周りの話とか、他の情報などで不安に陥ったり焦ったりすると思いますが、決して自分を失わないようにして下さい。人は、自分は自分と気楽な気持ちでいれば、表情は少しは明るくなる。良い方向へ向かおうと思えます。文・英文・女・保険業「会社の雰囲気は、実際に足を運んでみて肌で実感するのが一番だと思います。活動に慣れるためにも、少しでも興味のある会社であれば、説明会などには早い時期から積極的に参加した方がいいと思います。院・法学・女・電気機械器具製造業」大学院生・文系の方へ企業にちて院生への態度は様々です。なぜ大学院へ進学したのか、大学院まで行ったのになぜ就職するのか、は必ず質問されます。自分なりの考え、前向きな答えができるようによく考えて下さい。学部生との年齢差に負けず頑張ってください。商・男・金属製品製造業「まず、会社探しより、自分探しをして下さい。自分がどういう仕事をしたいのか、どういう仕事に合っているのかを知るためにまず、じっくり自己分析をするのが大切だと思います。それでも分かんなければ、あらゆる業種の会社を受けて下さい。その内、ヒューマンリソース「機械」男「建設業」数多くの会社説明会に参加し、自分の行きたい企業を見つけてください。見つけたら、その日訪問をして、自分の抱いているイメージと、Bからの質問に後でのイメージとを比べ、その企業が、いいの自分なりのイメージとを繰り返して自分が見つけたいと思える企業を見つけ、それに向かって頑張る。院・化学・男「非営利的団体」一番大切なことは諦めないこと。いくら企業研究や自己PRを練ったとしても、その企業との相性が悪ければ落とされる。そして相性は自分の足でセミナーに行き、面接に挑むまで分かんない。自分に合う会社が見つかれば必ず内定がとれるので、そんな会社に巡り会うまで諦めずに就職活動を続けることだと思います。是非諦めずに頑張ってください。

インターンシップのすすめ

大学あるいは大学院という限られた社会の中で過ごしてきた学生にとって、適職を見つけることはなかなか難しい。その意味でインターンシップは、貴重な体験の機会を提供してくれる。学生という立場から見ていた企業活動を、実際にそこで働く人の目線で見、感じてみる。当然、思いを新たにする人もいれば、イメージの修正を余儀なくされる人もいるだろう。今回は、二人の体験を通してインターンシップ制度の実際を紹介してみたい。

新聞記者という仕事の魅力を再認識しました。

インターンシップの対象年次は、学部生は三年次、院生は一年次と聞いていたので、無理かなと思いつながら応募したところ採用され、朝日新聞大阪本社で六日間のインターンシップを体験させて頂きました。志望の動機の一つには、毎日手にしている新聞の紙面がどのように作られるのかをこの目で確かめてみたいと思ったこと、二つめには、もし私が新聞記者を志望するとすれば何が足りないかを知りたいと考えたからです。

六日間はあっという間に過ぎました。初日は、社内の各部署を回って新聞ができるプロセスを学び、取材の「ツ」や記事の書き方についてレクチャーを受けました。そして二日目からは現役記者に同行しながら、取材活動や原稿作成を実習体験させて頂きました。

インターン期間中、世界的に衝撃的な事件が起こりました。九月十一日に起こったアメリカ同時多発テロです。私は自宅でニュースを見ていたが、頭の中は今新聞社内はどうなっているのだろうかということ一杯でした。

この歴史的な大事件に新聞社内は騒然とし、今ごろはきつと記事の差し替えや外信とのやりとりで追われていることだろうと想像しました。翌日の朝刊一面は、ニュースで埋まり、街角では号外が配られていました。社に出ると、一見昨日と同じ風景でしたが、きつと朝刊記事の締め切り間近の大事件発生に新聞社の方々は苦勞されたことでしょう。記者の中には、急遽自宅から駆けつけた方も多かったと思います。整理部の方々は、朝刊と号外の編集で一睡もできなかったかもしれませんが、生きた情報をいち早く伝えるための努力、私たちが当たり前のように読んでいる記事の一つひとつがその結晶なのだ改めて痛感しました。

朝日新聞は締め切りの早い順に一版から四版までありますが、前の版に甘んじておななく、つねによりよい紙面を作ろうと時間との戦いが繰り広げられていました。プロ集団



とはいえ、その姿勢に感服することにも、果たして自分が新聞記者としてやっていけるかどうかを改めて考えさせられました。同志社大学出身の先輩たちと懇談できる場も設けていただきましたが、記者という仕事が体力的に大変でも、やり甲斐というかたちで必ず報われる仕事だとおっしゃっていたことが印象的でした。

さまざま人と出会い、いろいろな話を聞くうちに目まぐるしく過ぎた六日間でしたが、私にとってはとても有意義な日々でした。家庭の事情もあって、しばらく郷里の放送局でアナウンサーをすることになっていますが、新聞記者をめざしてもうひと踏ん張りしてみます。

Profile



佐藤 寛子 さん

【法学研究科公法学専攻
博士課程 前期課程 2年次生】
インターンシップ実習企業朝日新聞大阪本社

目的をしつかり持って
臨む方が、
得るものは多い。

キャンパスに立てられた看板を見てインターンシップのガイダンスに参加しました。インターンシップ制度の存在は知っていても、具体的にアクションを起こす人は、周囲を見渡しても余り多くないようです。僕はシステムエンジニア(の仕事について、もう少し具体的に知っておきたいと思い応募しました。

受け入れてくれたのは、NECソフトウェア関西という会社です。社名からも分かるように、NEC傘下のソフトウェア・サービス会社です。期間は二週間。初日は本社で説明を受け、二日目からは現場となる京田辺市役所に出向き、SEEの方の補助業務に従事しました。任された仕事は、市役所内にある百五十台の端末にソフトウェアを順次インストールしてネットワークを構築していくことでした。配属にあたっては、あらかじめ提出したレポートで決められるように、希望の部署があればその意向が反映されます。僕の場合はSEEという職種についての漠然とした興味を書いたものですから導入部門の配属になりました。SEEとひと言で言っても、担当する業務によりいくつかの部門に分かれます。NECソフトウェア関西には、導入部門の他に、ソリューション部門、システム設計部門、テスト運用部門、メンテナンス部門が設けられています。

二週間と言えば、ようやく仕事に慣れ始めた頃なので物足りなさを感じましたが、こ

の間の体験や先輩SEEのお話が二つの間に分かりました。一つには、SEEには専門的な知識よりも広い知識が要求されるということです。なまじ専門的な知識を持っているとクライアントの意向を無視して突っ走りがちですが、広範な知識があれば真意をしかり汲み取ることができます。僕は、初級システムアドミニストレータと第二種情報処理技術者の資格を取得していますが、SEEになるにあたっては、特に専門的な資格の必要性は感じませんでした。もう一つは、システム開発は分業化が進んでいるため、全体像が見えにくいということです。ひどいときはクライアント名さえ分からないまま仕事をするということもあると聞きますから驚きです。一連の業務の中で、川上に位置するソリューション部門やシステム開発なら別でしょうが、今回従事した導入部門でもそうした疎外感を少なからず味わいました。



インターンシップを終えて、SEEという仕事の良い面と悪い面の双方を垣間みることができました。既成の情報だけに頼らず、自分で行動を起こし、自分の目と耳で確かめられたのは大きな収穫でした。

Profile



溝淵 健一さん
【経済学部 三年次生】
インターンシップ実習企業
NECソフトウェア関西

インターンシップとは

インターンシップは、学生が在学中に企業において就業体験を積むことにより、大学の講義中心の勉強では得られない数々のことを学び、学習意欲や能力の向上、職業適性や将来設計を考える契機とすることを目的とした教育プログラムです。

企業でも、国際化・情報化や産業構造の変化の中、独創的な発想ができる能力、自分で問題を発見・解決できる能力や自己責任で行動できる能力や自己人材の育成に繋がるとして積極的に受け入れ始めています。

工学部

[雨谷・長岡・馬場ゼミ]
工学部電気工学科

3C(Curious, Critical, Creative)を 背景にオリジナルを目指す

雨谷・長岡・馬場ゼミでは、雷や電気エネルギー、電磁環境問題等を主としながら、時にはHIV(エイズ)投薬効果、サッカーのシュート率あるいはショックへの生理学・心理学的反応などの各種現象の解析手法開発と未来予測の研究を進めている。大学院生・学部生は実験・シミュレーション・理論解析を武器に博士・修士および卒業論文を完成していく。学生が特異なテーマの研究を始めると教員は勉強せざるを得なくなる。教えることは学ぶこと。良く遊び、良く学べの伝統に従い、春・夏・冬の合宿とヒッチハイクのゼミ旅行が恒例となっている。

多和田 私は変圧器の周波数特性について研究しています。変圧器は電圧を高くしたり低くしたりするもので、テレビなどの電気製品にとって欠かすことのできない機器です。



雨谷 今日は「One Purpose」からこのゼミの取材に来られていますので、みなさんがどんな研究をしているのが順に紹介をお願いします。



三好 信次さん
博士課程(前期課程)
2年次生



雨谷 昭弘
【工学部教授】



西 俊輔さん
博士課程(前期課程)
2年次生



モハメッド・ナイル
Mohamed Nayelさん
博士課程(後期課程)
1年次生

たとえれば、この変圧器に雷の電流が侵入してくるとどうなるか、さらにそれがラジオの音声やテレビの画像にどんな影響を及ぼすかを研究しています。そのためにはまずさまざまな波形の電流を流した時の実験データから変圧器の周波数特性を割り出します。身元調査のようなものです。これを元に変圧器動作を模擬するプログラムを作成して、ラジオやテレビに与える影響のシミュレーションを行うわけです。

雨谷 多和田さんの研究は、非線形現象のシミュレーションがうまくできるかどうか問題ですね。

三好 私は研究室の先輩から引き継いだ放電ランプの研究をしています。普通、発光色は電球の素材で決まりますが、流れる電流の周波数をコントロールすることによって、発



土居 竜也さん
博士課程(前期課程)
1年次生



多和田 諭さん
博士課程(前期課程)
2年次生

3C(Curious, Critical, Creative)を背景にオリジナルを目指す



生する光の色が変えられないか研究しています。

雨谷 成功すれば、特許ものですな。

三好 水銀でやっているのですが、青系統の色は出ましたが、ついても赤系統の色が出せません。

多和田 今までランプはいくつくらい壊したの？

三好 つむ、見ていただいた通り、床に3つほど転がっていますね(苦笑)。

西 私は高調波の研究をしています。電流はある一定の周波数を超えると導体から空間に飛び出します。コイルを通過するときには必ずこの

現象が起り、ノイズが発生します。これが高調波といわれるもので、テレビの映像の乱れや家電製品の誤作動の原因になっています。この高調波をテレビジョン管やイヤホンのようなものなのですが、これを使って測定するわけ

です。

三好 測定まで？まだ対策の研究には至っていないのですか。

西 ます測定し、それを正しく評価しているところで、対策は次のステップになります。

雨谷 測定するものを英語ではmeasureと言いますね。このmeasureには、対策を講じてという意味もあります。一般的に、ノイズはノルターを付ければ防げるわけですが、三好さんのように測定や評価をしっかりと行えば、新たな対策が生まれるかもしれません。最近人体への影響が問題になっている携帯電話の電磁波対策も、まずは測定から始まります。そのあたりを研究しているのが土居さんですね。

土居 携帯電話が発する電磁波をどうやって

防ぐかというより、その二つ手前の研究です。具体的に言うと、人間に近い物体の電界を測定し、人体が電磁波をこれだけ吸収するかを調べるわけです。一方で、電磁波の発生を抑える研究もして、アンテナを曲げた時の効果などを検討しています。

雨谷 最後は、エシフトから来たナイルさん、ナイル、私はアシュート大学の研究助手の時に変電所の磁界について研究をしていました



が、雨谷先生が書かれた論文を読み、ぜひ先生の元で研究したいと思い、昨年同志社大学に came ました。

雨谷 私が米国エネルギー省の研究者をしてるときに書いた論文ですね。

多和田 ナイルさんは、凄く勉強しますよ。ほとんど研究室に住んでいる状態です(笑)。

三好 雨谷先生は、紙と鉛筆と電卓があれば研究はできるとおっしゃいますが、われわれは

ナイルさんと同じで、研究室にこもって実験やパソコンでのシミュレーションに追われています。理論先行型の研究をしているのは、この中では多和田さんくらいでしょうか？

西 そういえば、先生は回路シミュレーションの第一人者だから、実験はさむらないのは分かりますが、パソコンもほとんど使われませんか。

雨谷 そうですね、プログラムを作るくらいかな。しかし、考えとみると分かることですが、大学の研究室にはメーカーと対等の大がかりな実験ができる環境はないでしょう。それよりも、実験やシミュレーションでかわれ、現象の本質や研究のオリジナリティーを見失うことが心配です。あらゆることにCurious、かつCritical、そしてCreativeであれば大がかりな実験など無しに独創的な研究を行うことができます。大学の実験は現象を知り、その本質を見抜くための基本的な部分だけを抑えておけばよいと考えています。

ある医学部の先生とハーヴェイについて共同研究を続けていますが、授業効果に関するシミュレーションの結果は検証例に近いものでした。最近のソフトウェアやネットワークを使う研究手法下では、工学と医学・生物学、さらには文科系と理科系の垣根は限りなく低くなりつつあります。工学の手法を医学や社会科学に応用することで、またこの逆も同じですが、まったく新しい研究手法や成果を見出す可能性が広がっています。

Curiousが、真相に目を開く「目」を通じてCriticalが、個々の得意不得意個備不羈の精神と、そしてCreativeが、未来につながることを望みつつ、みなさんの研究の進展・成果と同志社人としての社会への飛躍に期待しています。

がんこフードサービス株式会社 小嶋社長に聞く

高津 小嶋さんが大学卒業後始められたことは、今風に言えばベンチャーだと思いが、学生時代から起業家をめざしておられたのでしょうか。

小嶋 私は九歳の時に父を亡くし、高校卒業後はしばらく家業を手伝っていました。その間に、商売の面白さを知り、ゆくゆくは自分でやってみたくて思っていました。ただ、そうした思いを抱いて大学に入学しても、いざ学生になり、フリーの立場でもの事を見ると、新しい可能性も開けるわけで、非常に悩みましたね。幸い、在学中にいろいろな人に出会い、いい話を聞くことができ、自分を見失わずにすんだのは大きかったです。

高津 一九六二年に卒業され、翌年にはもうお店を持たれましたね。

小嶋 三年次生になり、みんなが就職活動に



奔走し始めると、私も見聞を広げるつもりで、何社か会社を訪問しました。インスタントラーメンが発売された頃で、日本人の食文化が変わるかもしれないという衝撃を胸に、その会社を見学に行ったりもしました。今も昔も、学生というのは時代の先端を志向するもので、私も新しいものにチャレンジしたい思いがあったのです。しかし、冷静に自分を分析してみると、同級生よりも五歳も年上ですし、みんなと同じスタートラインに立って時代の先端をめざしてもこの遅れは取り戻せない。それならむしろ遅れた業界に飛び込んだほうがチャンスが多いはずだと考え、飲食業界に進むことを決意したのです。飲食業界は、職人が幅を利かせているのでなかなか企業化ができていなかった。半面、どんな田舎に行ってもどん屋の一軒や二軒はあるように、潜在的には大きなマーケットなのです。

高津 飲食業界に進むにあたって、市場のデータを収集して分析されたと伺っていますが、小嶋 大層なことをしたわけではありませんが、ぜひこれは自分の目で確かめよう、と、流れている店の前に立ち、開店から閉店までの客数と、予想した客単価から売上を割り出しました。原価は市場に行けば分かりますから、粗利益も予想できます。こうして五十軒分の損益計算書を作りました。しかし、数字

よりも重視したのは、自分の目です。店の前に立ち、来店するお客様を見ればおおよそ客層がつかめます。そうして一番儲かるのはすし屋だと判断し、すし屋を始めると決意しました。

高津 一年の修業の後、四坪半のお店を始め、その二年後にはもう百二十坪のお店へ移られます。随分急速な成長を遂げられたんですね。

小嶋 今、そんな事業計画を持ちかけられたら私は絶対に反対しますね笑。私の親は、大学を卒業したら、サラリーマンになり安定した生活を送ることを願っていたと思います。ところが、私はすし屋で働き、一年後に商売を始めた。親にすれば勝手な話です。そんな勝手な自分だからこそ、家族には迷惑をかけまいと、高校卒業後家業を手伝った報酬とし

小嶋 淳司さん

【1962年 経済学部卒業】

1935年、和歌山県生まれ。高校卒業後、兄に代わって家業を手伝ったのち同志社大学経済学部に入学。1962年卒業し、大阪のすし店で一年間修業。1963年大阪の十三で四坪半の「がんこ寿司」1号店をオープンさせる。1969年に小嶋商事株式会社を設立。1980年に「がんこフードサービス」に社名を変更。すし・和食店、とんかつ店、居酒屋など現在80店舗を有する。創業以来、外食産業は人産業の経営理念の下、人材の育成に力を注ぐ。



がんこフードサービス株式会社 小嶋社長に聞く



て兄からももらったお金で四坪半の店を
持ったのです。しかし、小さいとはいえ従
業員が三人いました。一生懸命働いて
くれる姿を見るにつけ、彼らに何をし
てあげられるかと考えました。そして
出した結論が、夢を与えることでした。
以来、店が終わってからビルを片手に
将来のプランを語って聞かせるようにな
りました。毎日深夜まで仕事をし、朝六時に
は市場に買い出しに出かけるという生活の中
で、睡眠時間を削って彼らのために時間を割
いたのです。ところがあるとき、彼らが大阪
で一番小さな店の店主が、大阪で一番大きな
話をする」と話しているのを耳にしました。私
はがっかりしました。しかし、分かってもらえ
ないなら、無理をしても大きな店を持つと
と決心したのです。近所の一等地に百二十坪
の空き物件があると聞き、さっそく申し込
みました。保証金は一銭もありませんから、最
初は相手にされるはずありません。ところが、
五回、六回と訪問するうちに、話を聞いて
くれるようになり、最終的に保証金は五年
後にまとめて払うという条件で契約してく
れたのです。すべてとは言いませんが、思いの強
さで実現できることもあるのです。

高津 従業員の話がでしたが、小嶋さんは
とても人材育成に熱心だと伺っています。

小嶋 外食産業は、人産業ひとしごとと聞いていくら
い人が大きなウエイトを占めています。お客
様をお迎えするの人も人なら、料理を作るの
も、もてなすの人も人です。経営は、人、モノ、
金と言いますが、私は経営は人に始まり、人
に終わると思っています。

高津 マニュアルで基礎は教えるが、あとは自

分で学びなさいという方針ですね。
小嶋 マニュアルで教えていることはできて当
たり前のことばかりです。一方、仕事のできる
人というのは局面、局面で的確に判断し、行
動します。マニュアル通りにしか動けない人は
その判断ができない人といつことになり
ます。

当社の研修センターは、大阪府の職業訓練
校の指定を受けていますが、一時その教育方
針で悩みました。カリキュラムが整い、制度化



が進むにつれて社員たちの元気が無くなつて
いくのです。なぜでしょう。目標を設定し、そ
れを遂行していく過程で大切なものを見失っ
ていたのです。本来、目標は本人が考えるべき
ところを、教育と称してわれわれが決めて与
えていた。社員はやがて主体性を失い、覇氣
が無くなっていったのです。このことをきかけ
に、私は仕事とは何か、生き甲斐とは何なの

かについて思いを巡らすようになりました。
禅寺にも行きましたが、商売に励めば、禅業
と同等の境地が得られるものです」と諭され
ました。考えてみると、人生でもっとも長い時
間を費やすのは仕事です。人は仕事から離れ
て生きていくことはできない。それならいそ
仕事に生きてみたらどうだろう。仕事を通じ
て自己実現を図る、そんな生き様の場合となる
会社を作ることができたなら素晴らしいこと
はないか、それからいつものことあることに
「仕事人間大いに結構、会社の制度や組織
に引張り回されるよりそれをフルに使いこ
なす会社人間になるんじゃないかと、みんな
を鼓舞するようになりました。」

高津 従業員の満足を追求される姿勢はよ
く理解できました。一方、顧客の満足につい
てはどうお考えですか。

小嶋 お客様の志向は、十年サイクルで変わ
ってきています。終戦後の二十年代は、お腹
で食べる時代で、まず満たされることが重要
でした。三十年代になると、おいしいものへの
願望が高まります。四十年代になると今度は
きれいなものを食べたくなる、目で食べる時
代になります。その後、飽食の時代を迎える
わけですが、最初に現れるのは、頭で食べる
傾向です。量はもろろ々、栄養価も考えて、八



ランスよく食べよという志向が強まります。その後、心で食べる時代が訪れます。これを私流に解説すると、高度な専門性を身に付けた人、われわれの世界で言えば料理の道を極めた人が、丹精込めてサービスしてくれる、そんな事を求める時代が訪れたように思います。たとえばお客様好みは、メニューカードを導入すればすぐ分かりますが、高度な専門性とは、そのデータを基に、今日この場面ではお客様に何を勧めるかを的確に判断する能力です。これが求められるのです。

高津 それがマネージャークラスに求められる能力といつことになりますか。

小嶋 そうです。当社のやり方としてはマネージャーに「この数値目標で店を運営してください」という条件を出しますが、具体的な指示は一切出さない。目標を達成するのに必要なものは何か、技量なのか、知識なのか、システムなのか、それを自分で考えてください、ということになります。必要な資料は出しませんが、しかし、答は自分で考えてもらいます。こういうことを積み重ねることによって、能力がアップされていきます。

高津 お店の多角化を進めていらっしゃるようですが、これは多角化に合わせた多角化と考えるのでしょうか。

小嶋 昨今のお客様の嗜好の多角化はいくら多角化しても追いつけるものじゃありません。私たちが推し進めている多角化は、こだわりの結果生まれたものです。和食でしかもこの価格帯のメニューで勝負するということだわりですね。お気に召さなければ他の店をお勧めすればいいのですから。

高津 最後にになりましたが、同志社大学の後輩にメッセージをお願いします。

小嶋 どんな一流企業と言えども、会社が社員の面倒を見る時代はもう終わりました。これからは、会社と個の関係がより大切になってきます。そこでは、A君という社員が会社のためにどのような実績を残したが、それに対して会社がどのように評価し、報いていくかを考える時代になってきていると思います。だからまず成果を上げられる人材にならないといけない。そのためには自分の目標を持ち、自分で課題を見つけてくれる人間にならなければいけません。学生時代であれば、この分野では誰にも負けないものを身に付けようという目標を持ち、目標達成のために必要な課題を見つけ、それを克服するために努力をする。そうした経験することによって、将来大きな壁にぶつかったときも、乗り越えていく力が身につくのです。その壁を乗り越えたとき、想像を超えた視野の広がりや人脈の広がりを経験することができるようになります。

高津 貴重なお話、ありがとうございます。



INTERVIEWER

よしのり
高津斌徳さん

【商学研究科】博士課程(前期課程)1年次生
商学研究科で経営戦略論を学ぶ。大学2年次生から続けてきた学会運営会社のアルバイトで土曜、日曜はつぶれ、平日も出張が入ると綱渡りの生活になるという。研究対象は、主に製造メーカーの生産システムだが、サービス業でありながらQCに積極的に取り組むがんこフードサービスには以前から注目をしていたという。

「飲食業は、人産業」。この言葉が、
小嶋さんの経営思想のすべてを語る。

気さくな人柄、巧みな話術、そして豊富な経験談が聞く者をどんどん惹きつけます。「目標意識が大切だ」という、ありきたりの言葉も小嶋さんの口をついて出てくると、「確かにそうだ」と改めて納得させられました。それは独自の体験から生まれた思想があるからでしょう。その意味で、大学進学が五年遅れたことは大きな意義のあることだったのではないのでしょうか。ふつうに学生時代を過ごした者にはない、新鮮な着想。就職活動をとつても、小嶋さんにとっては将来の起業のための勉強の機会だったのです。経営は「人、モノ、金」ではなく、「人、人、人」と語る独自の経営思想。昨今の起業家には少なくなつた理念型の経営者のお話を聞くことができ、いい勉強になりました。

Campus News

キャンパス・ニュース

「日本学生トライアスロン選手権」で個人・団体ともに準優勝!



九月九日石川県七尾市で開催された日本学生トライアスロン選手権(インカレ)で部外団体連合、トライアスロンが、個人・団体で準優勝を果たした。学生トライアスロンは、競泳1、5km、自転車40km、競走10kmで行われる過酷な競技。普段は週五日、インカレ前は週七日とハードな練習をこなし、大会に備えてきたという。主将の新井 隆史さん(工学部三年次生)は「メンバーそれぞれが違った目標の中で辛い練習をこなし、このインカレでは一つになって挑めたと思います」と語る。来年開かれる世界大学選手権の選考を兼ねたインカレでの準優勝は、次の大きなステップになったと言える。

創部十一年目を迎え、体育会の加盟団体になることを目標に着実に力を蓄えてきた。もっと多くの人に、トライアスロンの魅力を知ってもらいたいですね。トライアスロンは、自分の限界

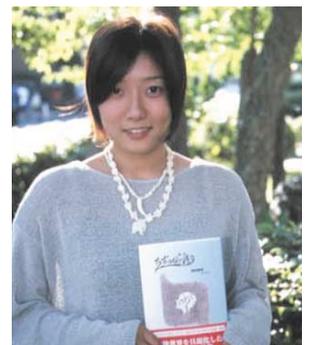
に挑戦し、可能性を広げていくスポーツです。その意味では、自分を表現できるスポーツと言えるのでは」と語ってくれた。

「母娘で共同制作した詩集『ちずのない詩』を出版



「母とは以前から、いつかいつしよにやりたねと話してたんです」と話す岡田麻理さんは文学部文化学科美学及芸術学専攻四年次生。この度、念願がかない、母娘の共作によるイラスト詩集「ちずのない詩」が完成。今秋から書店に並ぶことになった。

「私の絵を見て母が詩を書いたり、逆に詩のイメージからイラストを描いたりしました。母とは感じる部分が似ていたのでスムーズに創作できました」と初の共同制作の感想を話す。小さな頃から暇さえあれば、絵を描いていたという岡田さん。大学では映画サークルのチラシを作ったり友人たちとボストカードを制作・販売するなどの創作活動を通して、独自のタッチを固めていった。特定の画家に影響されたというより、描き手の持ち味を感じる絵に刺激を受けてきたという。人をテーマ



に描くことが多く、今回の詩集では誰にでもある感情をテーマとし、誰かにやさしくされたり、壁にぶつかったり、一人でのんびりしている時に感じたことを表現している。出版社の方からは「大人向けの癒し系詩集だね」と言われています。線画に色鉛筆で幻想的に描かれたイラストとあたたかみのある詩が安らぎを感じさせてくれる。

「本ができたことで、次はこうしてみたいという欲が出てきました。これからも、創作活動は続けていきたい」と今後の意欲も語ってくれた。

「同志社びわこリトリートセンター」パイプオルガン設置記念コンサート

十月十九日、同志社びわこリトリートセンターに世界的なオルガンストのジグムント・サトマーさんを迎え、コンサートが開催された。このコンサートはリトリートセンター礼拝堂へのパイプオルガン設置を記念して行われた。



新設されたパイプオルガンは、ヨーロッパで高い評価を受けるメリス・オルガン社製。一段手鍵盤と6バル、6ストツプ仕様で、空間が多目的に活用できるように移動式を採用している。一見すると小さく、パイプも見あたらず、礼拝堂の内装材に合わせて黄楊材や椴材を使用したパイプオルガンらしくない外観だが、五百本ものパイプを内部に持つ。礼拝堂の席数に適した音量とアンサンブルに適した音色を奏でる名器であるとのこと。

「このパイプオルガンの特性を生かすために、娘でパイオリスタのアド・カタリーナ・サットマリーさんと、その夫君でトロポーン奏者のフランク・サットマリー＝フィリッポ・ジュリアーノ・トリオ・サットマリー」として二時間におよぶ熟演で約百人の聴衆を魅了した。曲目はヨハン・バハの「ゴットバハなどヨハン・バハ十七、十八世紀の作品八曲を、独

妻やユエ、トリオで演奏。名演とともにアンサンブルの変化も楽しめる素晴らしいものになった。

コンサートに続き、サットマリー・トリオを囲んで懇親パーティが催され、みんなで湖畔の夕べを楽しんだ。

学生五人が古着ショップ「STUCK ART」を開店



今年の七月、京都木屋町通三条上ル京都エンプァイヤビルに古着ショップ「STUCK ART」がオープンした。経営するのは経済学部三年次生の菊井雅恵さん。以前、同地にあった「ベンテージ」ものの古着ショップの常連客だった縁で、同店の閉店を受け「STUCK ART」の経営に乗り出した。開店にあたっては菊井さんから、古着屋をやろうと思うんや」と相談を持ちかけられ、「面白いし、いじょうにやろう」と賛同した佐々木淳平さんと植野正祥さんとともに経済学部三年次生が準備を手伝った。販売するのはヨーロッパのインポート

ブランドの古着。ヨーロッパや神戸の倉庫に眠っている古着や新古衣料を仕入れるルートの開拓は菊井さんが担当。デニスレイやボムベージの立ち上げなどを佐々木さんと植野さんが担当し、ひと月あまりで開店にきつけたという。九月からは、友人の伊山周一さんと経済学部三年次生と今西竜成さんと法学部三年次生も加わり、ローテーションを組みながら年中無休で営業



を続けている。

菊井さんはこの商品についても「時間べらいい語れる品揃えにこだわったショップをめざします」と今後の抱負を語る。その脇から佐々木さんが、リクルートやオーダーデザインのプリントTシャツも準備していますので、同大生にもぜひ店を覗いてほしいですね」と付け加えていた。

URL: <http://www.stuck-art.net>

本学教員の新聞

(総合情報センター調べ)

雑誌「太陽」と国民文化の形成
鈴木美編 錢譜ほか執筆
思文閣出版 二、一〇〇円

美学のキーワード
W・ハクマン ほか編 村田誠一 ほか
勁草書房 四、〇〇〇円

イエスの復活
G・リュデマン 著 橋本滋男 訳
日本基督教団出版局 二、八〇〇円

日本経済の構造改革
岡本博公 ほか執筆
法律文化社 一、九〇〇円

ドイツの歴史と文化の旅
望田幸男
ミネルヴァ書房 二、三〇〇円

ギリシャ正教無限の神
落合仁司
講談社選書メチエ 一、五〇〇円

疾病・開発・帝国医療
「アジアにおける病気と医療の歴史学」
見市雅俊 ほか編 川越修 執筆
東京大学出版会 四、八〇〇円

Biographical Dictionary
of Management 全二巻
石川健次郎
紀伊屋書店 九四、五〇〇円

日本比較 企業行動と労働市場
中田善文 竹廣良司
日本経済新聞社 三、八〇〇円

困難を乗り越え、
歌うことの意味を
見つけた海外演奏旅行



私たち同志社グリーククラブは九月七日より二週間にわたって海外演奏旅行を行いました。この海外演奏旅行は三年に一度、行っているものであり、今年は何回も続いてアメリカに行ってきた。この演奏旅行の大きな意義としては私たちグリーククラブの演奏面での挑戦、大学の合唱団や現地の方々との交

流そして新島襄先生の足跡をたどり、同志社を知ることにありました。

しかし三度のコンサートを終えて一息つき、一日かけてナイヤガラへ観光に行こうとした十一日、悲惨なテロ事件が起こりました。つい数日前に観光したシンガポールでバス移動中だったバシムルハニア州内で、そしてその後で訪れる予定だったマニラで、そのような異常事態の中、後の演奏をどうするかをそれぞれが思い悩み、話し合いました。結果、このまま続けようということになりました。受け入れ手である現地の教会や大学側もぜひ演奏会を開いてほしいということであり、私たちはアメリカ人の励ましあつた強さを知るとともに、一人一人がテロ事件直後という状況の中で歌うことの意味を考えながら歌い続けました。またアーモスト大学での演奏会の後では、学生が主体となつて行われていた追悼集会にも参加するなど、メニ

アアを通してでは決して知ることの出来ない経験もしました。

その他グレース教会、フィリッパカデミー、アンドラー神学校と、行く先々で歓迎を受けました。そして新島襄先生が歩かれた苦難の道をたどるにつれ、同志社大学の礎を築いた先生の偉大さを改めて実感することになりました。またボストンのオールドサウス教会で開かれた The Hardy Neesima Memorial Concert では私たちに加えてフィリッパカデミーやアーモスト大学のOB、教会合唱団や地域の合唱団も加わっての大合唱団をつつて演奏し、大きな歓声を受けました。

私たちが行ったこのアメリカ演奏旅行は当初の目的であった演奏面での成長、交流や同志社のルーツをたどることが出来たことに加え、途中で起きたテロ事件のために、特別な意味をもつものになりました。危機的状況に直面したアメ

リカの空気を肌で感じ、様々なことを考えたことは、本当に貴重な体験だったと感じています。

私たち同志社グリーククラブは十二月十五日(土)に今年も京都コンサートホールにおきまして定期演奏会を行います。ぜひこちらにも足ををお運びください。(同志社グリーククラブ)

第九十七回同志社グリーク定期演奏会
日時：二〇〇一年十二月十五日(土)
開場：十七時
開演：十八時
場所：京都コンサートホール大ホール
入場料：S席二〇〇〇円/座席指定
S席一五〇〇円/座席指定
A席一〇〇〇円/当日
十六時三〇分より座席券交換
お問い合わせ先：同志社グリーククラブ
電話：〇七五(二五)三二八五呼)



2001年度資格試験など合格ランキング

司法試験 最終合格者		大学別ランキング(ベスト10)			
順位	大学名	合格者数	前年度合格者数	合格率(対前年度)	前年順位
1	東 京	206	198	7.5%	1
2	早 稲 田	187	140	3.8%	2
3	慶 應 義 塾	100	116	3.9%	3
4	京 都 都 府	90	108	5.9%	4
5	中 央	76	102	1.6%	5
6	一 橋	36	41	5.0%	6
7	大 阪	34	29	5.4%	8
8	明 治	27	17	1.4%	10
9	上 智	19	17	3.2%	10
10	同 志 社	17	31	1.5%	7

公認会計士 第2次試験合格者数(ベスト10)			不動産鑑定士 合格者数(ベスト10)		
順位	大学名	合格者数	順位	大学名	合格者数
1	慶應義塾	155	1	慶應義塾	33
2	早稲田	134	2	早稲田	31
3	東 京	68	3	中 央	26
4	中 央	59	4	明 治	23
5	一 橋	47	5	日 本	17
6	同 志 社	43	6	同 志 社	12
7	明 治	42	7	立 命 館	9
8	京 都	29	7	関西学院	9
9	神 戸	24	7	青 山 学 院	9
10	関西学院	22	10	法 政	8
			10	関 西	8

「初心」

先日、友人のサヨナラ・パーティーがあった。彼女とは昔勤めていた学校で一緒に教えていた。十二年間過ごした日本を去り、母国アメリカへ帰るのだという。パーティーを企画したのは、彼女が初めて教えたクラスの卒業生であった。

パーティー会場であるワイン・バーには、元同僚、教え子など約五十名が集まった。そして、こぢんまりとした、そのワイン・バーは、久々の再会を祝う話し声であふれていた。みんな、アメリカへ帰る彼女にお別れを言いに行ってきたのだが、同窓会のような雰囲気にはなまっていた。

実は、これを一番おそれていたというのが、私は、私は人の名前を覚えるのが苦手である。「お久しぶりですね」と道で声をかけられて、「この人誰だったかなあ」と思いながら、最後まで相手の名前を思い出せず、では、お元気で」と冷や汗をかきながら別れることはよくある。ましてや、今回は、十五年ぶりに会う人がほとんどである。パーティーに来る人の顔と名前が一致するか、不安であった。相手の名前を思い出せないまま、何時間も同じ空間に居ることを考えただけで、軽い頭痛がした。しかし、意外なことに、パーティーに来た人のほとんどが誰だか一目でわかった。顔を見ただけで名前が自然と出てきた。これには自分

でも驚いた。十五年ぶりに会った教え子の名前をスラスラ言えたのである。会話が進むにつれて、一人一人の性格や授業中の発言なども思い出した。そして、昔の面影を残しつつ、社会人として立派にならた教え子と話す時間は、大げさに言えば、時空を超越したものであるように感じた。

パーティーはあという間に終わった。主役の友人とはあまり話すことはできなかったが、パーティーに来た人達と様々な話に花が咲いた。そして、そのワイン・バーから少々距離はあったが、駅まで歩いて帰ることにした。

パーティーでの話題や教え子のことなど考えながら歩いていて、ふと思った。今教えている学生の名前と顔を思い出せるか。講義中心の大きなクラスは無理にしても、二十名前後のクラスなら大丈夫だろう。少し気合いを入れて思い出してみた。すぐに顔は浮かんできた。

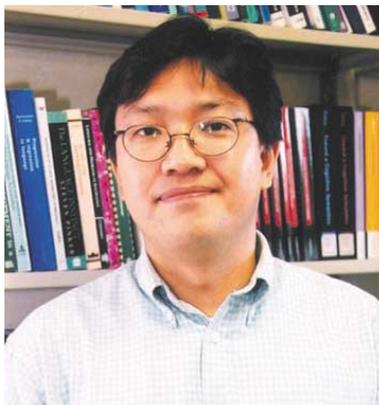
しかし、名前が出てこない。顔と名前が一致しない学生が四分の一はかりいた。自分の記憶の悪さは十分わかっていたが、愕然とした。何が違うのだろうか。十五年ぶりに会った教え子の名前はすぐに思い出せたが、今教えている学生の名前を思い出せない。学生の気質の変化が原因だろうか。先生と親しくなりたいと考えている学生が少なくなってきたからだろうか。いや、カリキュラムの違いだろうか。

赤松 信彦

Nobuhiko Akamatsu

【文学部助教授】

1962年大阪府生まれ。1985年同志社大学経済学部卒業。1988年ニューヨーク州立大学教育学部修士課程終了。1996年トロント大学・オンタリオ教育研究所博士課程修了。2000年同志社大学文学部に助教授として入社。専門は第二言語習得・英語教育。



学生と接する時間が少なくなってきたからかもしれない。

あれこれ考えた後、自分の方に目を向けてみた。十五年前の自分の姿が浮かんだ。教師になってまだ間もない頃で、教えることに必死であった。授業の準備が深夜になることもたびたびあった。余裕はなかったが、新鮮な気持ちと謙虚な態度で教えていた。

「変わったのは、こちらの方が、思わず、ため息のような独り言がでた。ワイン・バーを出た時の、少し穏やかな気持ちは、もうどこかへ消えていた。

『沈黙の恐怖』

沈黙も意思疎通の手段のひとつだ。授業中にもよく沈黙をもって質問に答えている「人」がいる。この数秒間の反応のない世界は幾通りもの解釈が可能だけれども、勝手に解釈を進めて次の発話に至ると、更なる謎めいた修復不可能な時間をすくす羽目になる。

沈黙に悩むのは人間ばかりではない。院生のとき、クラスメートのシラと一緒にギリシャ語・日本語翻訳プログラムを作るプロジェクトに着手した。各々が作った母語のパーサーを併せて格と語順の操作をさせる、単純な翻訳プログラムでも不慣れな私達には困難で、シラは早々に諦めてほかのプロジェクトに乗り換えていたが、ギリシャ語のパーサーは貸しておいてくれた。そのお返しは彼女の苦手、私の得意科目、音声学と音韻論の宿題のお手伝いだった。孤独に与水にもって翻訳プログラムの暗中模索を続け、いよいよ仕上げが思った以上に動かない。よく見るとコンピュータ画面上での沈黙、スペースが二つ余計に入っている、この不吉な沈黙を撤去するとサクサク翻訳を始めた。

自然言語でも例えば英語のような言語ではスペースの語るところは大きい。blackbirdとblack birdでは前者がつくみを、後者が種類は何でも黒い鳥を意味するように、スペースの有無が意味の違いに貢献する言語はあるわけだ。

コンピュータと違って人間にはじつは音・

表記記号のない空間を巧みに操ったり、もしくは解釈を加えたりすることができると、レイトンの「ミニマリズム」は豊かになり、混乱を招いたり悲喜交々である。

日本では沈黙は金なり」といつ。これは名言だと思っ場面も多々あるけれど、そんな考え方を全く解さない文化も世界にはあるわけだ。ところ変われば品変わり、湯水のように使つていつ表現は大抵のところでは水の量豊富な日本ではいとおらずに使うことを指すが、中近東などの砂漠に近い町などでは希少な水として大切に使うことをいつのは容易にイメージが浮かぶよい例かもしれない。

イギリスの大学には目的意識のはっきりしている学生が集まっていて、沈黙を保っているとかやる気がないと解釈されてしまう。授業中、学生達は自分の知的貢献を残そうと競い合つて発言する。イギリス各地、世界各国からの留学生で構成されるクラスメイト達と助け合いをよくしたけれど、其々の国、地域、そして個人の価値観などが炸裂していた。しかしそんな十人十色の価値観がぶつかり合い、不思議にも融合する中でみんな案によく個人固有の文化に関して話をした。一見謎めいた振舞いも話せば判る。これも多かつた。

間違つのが怖くて沈黙を保つのはその人の成長を遅らせると思う。自分で論証できることであれば、様々な人間を取り巻く事象に対して「自分の真実」を持つことは許される

だろう。論証の上でうまく諸事案がついてきてくれるようならば正しい考え方なのではないかと思う。仮に間違つたとしてもそこから学ぶことは大きいはずだ。

他者への配慮と思いやりをもちて適切な発言をするのは難しい。生きることは隣人達の文化背景への配慮をすることではないとさえ思える。少なくとも様々な国内外の文化に触発され、固定観念に捉われぬよう、生きてゆきたいものだと思つている。

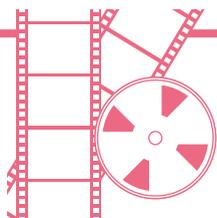


吉田 優子

Yuko Yoshida

【言語文化教育研究センター助教授】

京都府生まれ。同志社大学文学部英文学科卒業。ロンドン大学東洋アフリカ研究所言語学部にて修士号(MA)・博士号(Ph.D)取得。ロンドン大学在学中、言語学部助手及びチューター、日本語学科助手などをつとめる。1996年同志社大学に入社。



VIDEO

本学教員の推薦する

光田 重幸【理工学研究所助教授】

日本の古層文化にきらめく叡知

樹々の葉が透けるような柔らかな黄や赤に染まるころ、昔にまよった中国雲南省の奥地の村を思い出すことがある。その頃の私は、民俗学と植物学の中間領域を進んでいて、収穫が終わって農家が暇な晩秋は、絶好の聞き取り時期だったのである。竹の節から見つかる植物真珠の話など、いかにも竹取物語の発生にかかわって、いそいだなと考えたこともある。この話は未だに私の宿題だが。

同志社に勤めるようになって、立場上その方面の仕事はお預けに近くなった。昨今、京田辺市が日本の竹取物語のルーツとの話もよく聞く。それはそれで結構なのだが、物語誕生のスリリングな動機までさかのぼるのは、自然と向き合う人間の生の姿がかいま見えて、私などはこのほか感動を覚える。

ここに紹介するビデオは、もともと十六ミリフィルムだったものを、特別に頼んでビデオ化してもらったものである。だから、市販はされていない。制作は、姫田忠義氏率いる民族文化映像研究所。この研究所では、日本をはじめ東南アジアやヨーロッパの民族文化の古層を「生産」という現場を通して再現するという苦勞の多い仕事を続けている。その作品群はむしろヨーロッパで評価が高いが、周防猿廻しの記録「のまじり」猿軍団の誕生を促したようなものもある。

数ある民族研の作品の中から私がこの作

品を推すのは、焼畑という日本の古層文化の中に、きらめくような人間の叡知がよく伝えられているからである。森を愛しながら、生活のために森を焼く。奈良田の人々は、普通三十年かかる森の再生を、カラマツやハシロなどの菌類共生植物を植えることにより、半分の十五年に短縮した。アゲロフォレストリーは、何も現代だけのことではなが

たのである。また、焼畑適地を植物によって見分けることも知っていた。かつて私は、京都の葵祭りが元は焼畑の祭りだったという論考を仕上げたが、それもこのビデオがヒントだったのである。文化史に興味がある方に、一見をお薦めしたい。光田 内線六六八八まで連絡ください。



『奈良田の焼畑』

1985年(フィルム版)約33分
企画 早川町教育委員会 制作 民族映像文化研究所
所蔵 同志社大学理工学研究所



BOOK

本学教員の推薦する

富沢 克 【法学部教授】

保田與重郎 『萬葉集名歌選釋』

現在保田與重郎が若い人々の間でどの程度読まれているのか、私は知らない。たぶん少数の文学好きな読者をのぞけば、その名前すら知らない者も多いのではないかと。かくいう私自身、保田とはずっとすれ違いの連続で、最近まで縁がなかった。

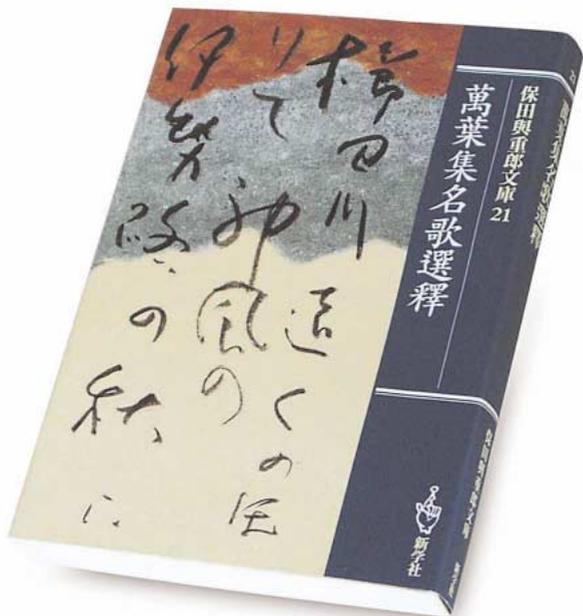
保田は戦後、ジャーナリズムにより完全に「生き埋め」にされた。その保田が日本伝統文化の語り部として復活するのが六十年代終りから七十年代にかけて。ある種の時代状況の中で、『現代崎人伝』『日本美術の歴史』などは一定の読者を獲得した。当時私自身の周辺には保田ファンはいなかったが、保田の存在は知っていたし、橋川文三『日本浪漫派批判序説』も読んでいた。しかし、だから保田を読んでみようという気にはならなかった。今さら、との感が強かった。過去の亡霊。戦争中、不正確かつあいまいな文体によって日本古典を論じ、幾多の若者を死地に赴かせた希代のテクニクにしてマシスト。簡単に言ってしまうと、これがわれわれの世代にとっての保田と、アブリアリな保田與重郎像に他ならなかった。左翼かぶれの一学生として、保田には当時の保守主義者（福田恆存、田中美知太郎、小林秀雄等）とは違う、異質の、ある種のまがまがしさを感じさせるものがあった。

そんな私の保田像が一変したのは、ふとした機会に『日本の橋』というエッセイを読んだからである。保田は「のちやそちで、西洋の巨大な石橋、軍事を目的とした」と日本のち

っぽけで貧しい木橋を対比しつつ、日本人の自然観、美意識、彼岸観、メンタリティの最深处を見事に描き出していた。そこには予想していた居丈高でフアナチクナなシヨナリズムはなく、弱々しくもはかない、すぐれて美的なシヨナリズムのイメージが独自の文体を通して表現されていた。私は少しづつ保田の文学世界に興味をもちはじめた。

そこで本題の「選釋」。大和桜井に生まれ育った保田にして、『萬葉』の世界はすでに肉體の一部。その保田が肉声で語る萬葉論が

面白くないはずがない。本書は保田流「日本文化論」入門としても、また保田の他の著作への橋わたしとしても読める。戦中の気負いや、戦争直後の紙ナケレバ、地ノ毛書カン、空ニ毛書カンといったはりつめた気分もそこにはない。大好きな萬葉の世界を気の向くままに散策している気配である。読者もリラックして萬葉の世界にふれられるのが楽しい。秋の夜長、たまにはこんな読書で、古の日本と日本人に想いをはせてみてはいかが。



『萬葉集名歌選釋』

1999年 保田 與重郎 著
発売元：新学社
価格：1200円

時間は有効に使うべし。
人生のプラスαは、
そこから生まれてくる。

私は大学卒業後、京都の村田機械に就職しました。当時、商社や金融機関が学生の人気を集めていました。私も何社か訪問しましたが、最終的な決め手となったのは社風でした。面接官やOB訪問を通して得た感触から、自由で闊達なこの会社ならやってみよう、と確信したからです。

職種は、文科系だからまず営業だろうと想像し、それなりの心の準備をしていたところ、人事はどうかというお話をいただきました。人事課で一年余り人材採用の仕事をした後、現在の製品計画センターへ異動になりました。当社には、織維機械、物流システム、工作機械、クリーンシステム、情報機器という五つの事業部がありますが、私の所属は織維機械。村田機械の源流ともいえる事業部ですが、紡績や織維業界は生産拠点の海

My Life. 仕事

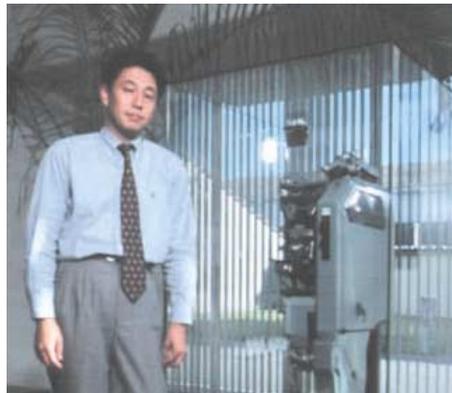
第14回

が仕事を通して見た「社会」とは？
ことの意義とは？

う先輩の声に耳を傾けながら、
生生活の現実を考える機会にしたいものです。

外移転が進み、当社の製品も九〇%以上が輸出向けです。当社も需要がある場所に拠点をシフトしています。私の仕事はこうした海外の営業所から入る受注情報を国内の製造部門につなぐ仕事を中心になります。機械は受注生産で、百数十項目に及ぶ仕様を決めてから製造納入するまで、三、四カ月のリードタイムが必要になります。受注には当然波が生じますが、私たちはこの波をできるだけ平準化させるため、月次ベースの利益計画や生産計画を立てて技術・製造部門を効率的に稼働させる役割を担っているのです。

着任当初は、海外の営業から舞い込む発注や問い合わせに应付するため、資料をまとめて集計・分析するのにほとんどの時間を割いていました。相手は海外ですから時差があり、その対応だけでも大変だったのです。それがここ数年で大きく様変わり。海外とのやりとりは電子メールが中心になり、集計・分析業務もコンピュータで行うため、見違えるほど効率的になりました。元来パソコンが好きで、仕



事もつねに効率よくこなしたい性分でしたから、この変化は大歓迎。ルーチンワークは素早くこなして、生まれた時間で事業部全体のシステムの改善に取り組んでいます。プライベートでも、学生時代に学んだ経営論を实践で生かそうと、簿記検定二級を取得しました。税理士試験にも挑戦してみました。予想以上に対策に時間がとられ、あえなく断念しました。悔やまれるのは学生時代の時間の過ごし方でした。あのあり余った時間をなげもつと計画的に使えなかったが、今考えるところでも悔いが残ります。

最後に人事で採用を担当していた立場から、就職活動に励む皆さんにアドバイスできるとすれば、就職のために資格をとるとか、面接用のコメントを準備するのはあまりお勧めできません。面接官やリクルーターはその道のプロですから、付け焼き刃は通用しないし、自分の気持ちや将来の夢を素直に話す、そんな学生を高く評価するものです。

PROFILE

中学・高校とラグビーをやっていた宮本さんは、同志社大学ではアメリカンフットボール部に所属した。当時は、同学年で八十人が入部したくらい人気があり、リーグ戦でもつねに上位をキープしていたという。四年次には、初戦で関西学院大学を破り、「今年こそ優勝を！」と士気が一気に盛り上がったそう。当時の友人たちとは今も交流を続けている。村田機械に入社後はラグビー部に所属、「ラグビーでくたくたに疲れ、体の節々が痛くなりだすと、気分的にはかえって爽快になります」と笑う。宮本さんの体には、スポーツが染み込んでいるのだろう。



宮本 太司さん

【1992年商学部卒業】

村田機械株式会社 織維機械事業部
製品計画センター勤務

シリーズ

『ONE PURPOSE』では、さまざまな分野で活躍する先輩を訪ね、毎月「私と仕事」をテーマにお話を伺っていきます。

私と「My Job,」

社会へ出てかれこれ？年。先輩たちあるいは「生きる」

歩んだ道も経験もそれぞれ違

将来の自分にふさわしいキャリア・プランと学

My Job
My Life

商社の持つ自由で
伸び伸びした雰囲気、
私にはぴったりでした。

総合商社で働ける喜びを、私は今しみじみと感じています。一九九八年の卒業ですから、就職戦線は厳しく、夏を過ぎても就職先が決まらない友人も何人かいました。私の場合も求人を探すのが精いっぱいでした。商社の採用枠を見つけ、内定にまでこぎつけたのがトーマンでした。銀行も訪問してみましたが、堅苦しそうな雰囲気馴染めず、海外を相手に開放的な環境で仕事ができそうな商社に志望を絞ったのが正解でした。

商社といっても仕事の内容はさまざまです。まして総合商社になると、多角的に事業を展開しているため、まるで独立した会社の集合体のようにも見えます。そんな中、私はテキスタイル部に配属されました。まず、ヒアロや地方の工場を見学して、製品ができあがる過程をひと通り教わりました。研修が終

わると、先輩の指導を受けながら早速業務に従事します。テキスタイル部だから生地までかと思えていましたが、糸から縫製、製品まですべてを扱っている仕事でした。主に国内の産地から原料を調達し、中国で縫製にかけます。その間にお得意先のアパレルメーカーや百貨店などと綿密な打合せを行っています。したがって覚えなければいけないことがたくさんあります。船積手配や通関手続きなどの貿易業務はもちろん、糸の撚り方から染色、最新のトレンドまで知っておく必要があるのです。

入社三カ月で、何とか一人で仕事がこなせるようになりましたが、一年間の仕事のサイクルを覚え、意向を持って仕事をコントロールできるようにしたのは三年目からでしょう。その間、いろいろと失敗もしました。お客様との打合せで、しっかり意思の疎通を



PROFILE

笹川さんの学生時代の思い出は、やはりクラブ活動。アメリカンフットボール部のマネージャーとして四年間頑張れたのが何よりの自信になっているという。「アメフトのマネージャーは、真夏の炎天下でも、零下の寒空でも、つねに屋外で活動していました。そのお蔭でしょうか、とても健康で、風邪もひかず頑張っています」と明るく笑う。社会人になった今も、母校が出る試合には応援に出かけているそうだ。



笹川 百百子さん

【1998年商学部卒業】

株式会社トーマン テキスタイル部

短繊維課勤務

図つたつもりが、誤解があつて、何度も企画を練り直したこともありました。英文レターを適当に拾い読みしていたらとても重要な文書で、お叱りを受けたこともありました。それでも意気消沈することもなく頑張つてこれたのは、この仕事が好きになれたことに尽きると思います。担当した製品がショーウィンドーにきれいに陳列されているのを見るとうれしくなるし、追加発注を受けたりすると満足感もひとしおです。

このように書くといひ面ばかりに見えますね。でも現実には、当社でも女性の採用は私の年で最後になつたくらい、厳しい経済環境にあります。やる気のある女性には最適な職場でも不況で…何だか寂しくなりますが、探せばきつと私のように、仕事も会社も大好きになれる職場があると思います。先輩の皆さんには、自分とつものをしっかり持ち、やりたいことを明確にして学生生活を楽しんで欲しいと思います。

お知らせ

ANNOUNCEMENT

あの「スノ・アド」が 来春も実施の運びに!

過激なまでの内容で、昨年静かなブームを巻き起こした「スノ・アド」が、さらにパワーアップして帰ってくる!

「スノ・アド」とは、英国生まれの冒険教育機関OBSと提携して学生課が行う「スノ・アドベンチャー@信州セルフ・ディスカバリー」のこと。春まだ浅い北アルプスをフィールドに、普段出し切っていないパワーをすべて出し切り、初めて会った仲間と一緒に最善を尽くす中から、本当の自分を発見していきます。内容は、バックカントリー・スキー、スノー・ハイク、雪上キャンプと盛りだくさん。冬山はちょっと...と尻込みする人も、まずは説明会。昨年の参加者の体験談を聞いてから考えてね。

今出川説明会:12月18日(火)明徳館一番教室
京田辺説明会:12月19日(水)ラウンジ棟201会議室
時間はいずれも午後5時から

期 間:3月13日(水)~17日(日) 現地解散
募 集:学部生・院生先着18人
費 用:35,000円(予定)
お問い合わせ先:学生課(今出川)
TEL:075(251)3270



課外講習(Ski)参加者募集

本年度も恒例のスキー講習を長野県野沢温泉スキー場で実施します。講習は参加者の技術レベルに応じた少人数の班編成で行います。募集対象者は、学部生から大学院生までのすべての同志社大学生です。スキーを始めたい人、もっとうまくなりたい人は、是非参加してください。

日程: 2002年3月4日(月)~7日(木)泊3日4日
2002年3月11日(月)~14日(木)泊3日4日
スキー場:長野県野沢温泉スキー場
参加費:38,400円(交通費・用具レンタル料を除く)
その他に、リフトカード保証金1,000円(講習会終了後返却)が必要
募集期間:12月1日(土)~15日(土)
申込場所:京田辺 体育係(磐上館)
今出川 教務課(弘風館1F)
お問い合わせ先:体育係(京田辺校地磐上館) TEL:0774-65-7510

クリスマスコンサート

場所:多目的ホールラウンジ(京田辺校地)
期間:12月10日(月)~14日(金)12:30~13:00
12月10日(月) 軽音楽部
12月11日(火) F・A・C
12月12日(水) マンドリンクラブ
12月13日(木) アカペラサークル「ONE VOICES」
12月14日(金) 交響楽団
お問い合わせ先:学生課(京田辺) TEL:0774-65-7410

全同志社クリスマスキャンドルライト・サービス

出 演:同志社女子中高、同志社高校、同志社中学、大学聖歌隊
同志社大学ハンドベルクワイア、同志社女子大学聖歌隊
入場料:無 料
と き:12月22日(土)18時開演 17時30分開場)
と ころ:同志社女子大学栄光館(今出川校地)
お問い合わせ先:同志社女子大学宗教部 TEL:075-251-4141
キリスト教文化センター(大学) TEL:075-251-3321

第12回クリスマス燭火讃美礼拝

出 演:同志社学生聖歌隊、同志社大学ハンドベルクワイア、
同志社女子大学聖歌隊、京田辺市民合唱団、田辺少年少女合唱団コスモス
入場料:無 料
と き:12月14日(金)18時30分開演(18時開場)
と ころ:新島記念講堂(京田辺校地)
お問い合わせ先:キリスト教文化センター TEL:0774-65-7370

第37回全同志社メサイア演奏会

(戦前戦後通算50周年)

出 演:同志社交響楽団、同志社グリークラブ、同志社女子大学メサイア研究会 ほか
指揮者:山下一史
ソリスト:Soprano 松下悦子 Alto 児玉祐子 Tenor 金谷良三
Bass 井原英人
と き:12月24日(月)18時開演 17時開場)
入場料:1,500円 前売:同志社大学生協、チケットぴあ、京都コンサートホールで販売
と ころ:京都コンサートホール大ホール
お問い合わせ先:全同志社メサイア実行委員長 山形 090-9096-7147

お便りをお待ちしています

『ONE PURPOSE』は、学生のみなさんと大学とのコミュニケーションをはかることを目的として発行しています。本誌に関するご意見や企画のご提案、日頃学生生活を送っている中で気づいたことや疑問に思うこと、また悩んでいることなど、ささいなことでも結構ですので、どしどし広報課までお寄せください。

ONE PURPOSE

<ワンパーパス>

同志社大学通信129号

2001年12月1日(4・6・10・12月年4回)発行

発行 同志社大学 広報課

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入
TEL 075-251-3120 FAX 075-251-3080
E-mail ji-koho@mail.doshisha.ac.jp